



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6440 URL http://www.juki.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清原 晃  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)鈴木 正彦 (TEL) 042-357-2211  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	48,389	△5.1	3,618	78.4	3,589	491.9	2,404	—
28年12月期第2四半期	50,991	△11.1	2,028	△52.0	606	△84.6	△232	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,043百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △3,928百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	82.07	—
28年12月期第2四半期	△7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	110,486	29,013	25.8
28年12月期	111,365	27,582	24.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 28,454百万円 28年12月期 27,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	3.4	6,000	29.0	5,500	82.0	3,500	85.8	119.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	29,874,179株	28年12月期	29,874,179株
29年12月期2Q	577,613株	28年12月期	577,229株
29年12月期2Q	29,296,768株	28年12月期2Q	29,589,321株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマートファクトリーなどを提案するソリューション営業活動を推進する一方で、取引採算の見直しを含め収益性を重視した販売活動を展開したこともあり、売上高は483億8千9百万円(対前年同期比5.1%減)となりました。

利益面につきましては、売上減少の影響はあったものの、上述の販売施策やコストダウンなどによる利益率改善や経費削減の効果などにより、営業利益は36億1千8百万円(対前年同期比78.4%増)となりました。また、前連結累計期間で発生した外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから、経常利益は35億8千9百万円(対前年同期比491.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億4百万円(前年同期は2億3千2百万円の損失)となりました。

#### (主なセグメント別の概況)

当社は、今後の環境変化に対応し、持続的に高い収益を上げることができる事業構造を構築するため、第1四半期連結累計期間より経営の枠組みを変更いたしました。これに伴い、従来の「縫製機器事業」「産業装置事業」の2つのセグメントから、システム分野を含めたソリューション展開を強化するため、新たに「縫製機器&システム事業」と「産業機器&システム事業」の2つのセグメントに再編しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

#### ① 縫製機器&システム事業

市場別では欧米での売上が堅調に推移し、中国での売上も回復基調にあるものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではカーシート向けなどのノンアパレルの分野では売上は拡大したものの、アパレル市場向けの売上が減少したことで、縫製機器&システム事業全体の売上高は325億6千2百万円(対前年同期比9.8%減)となりました。利益面においては、前述の販売活動の展開やコストダウン効果などにより収益性が改善したことなどからセグメント利益(経常損益)は28億6千3百万円(対前年同期比24.6%増)となりました。

#### ② 産業機器&システム事業

市場別では最大の市場である中国をはじめとして設備投資需要の拡大に支えられて産業装置関連の売上が堅調であったこと、製品別ではスマートファクトリー提案で展開する省力化装置や受託加工等のグループ事業の売上が伸びたことなどから、産業機器&システム事業全体の売上高は156億5千9百万円(対前年同期比6.3%増)となりました。利益面においては、前述の販売活動の展開などによる利益率の改善やこれまで進めてきた構造改革による費用削減効果などにより、セグメント利益(経常損益)は11億2千9百万円(前年同期は4億2千2百万円の損失)と大きく改善いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ8億7千8百万円減少して1,104億8千6百万円となりました。負債は、短期借入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ23億9百万円増加して814億7千2百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べ14億3千1百万円増加して290億1千3百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は25.8%となり、前連結会計年度末に比べて1.5ポイント増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、56億4千3百万円の収入(前年同期は78億8百万円の収入)となりました。売上債権の減少などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億7千4百万円の支出(前年同期は2億4千6百万円の支出)となりました。有形及び無形固定資産の取得などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、40億5千2百万円の支出(前年同期は62億3千1百万円の支出)となりました。短期及び長期借入金の返済による支出や配当金の支払いなどによるものです。

これらの結果として、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より9億5千6百万円増加して88億4千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の連結業績予想につきましては、為替動向等をはじめ不透明な点もありますが、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、売上高1,010億円、営業利益60億円、経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円に修正いたしました。

なお、業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=105円から変更しておりません。

また、期末配当の予想につきましては、前回公表値の1株につき20円を修正しておりません。

詳細につきましては、本日、別途開示の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,048	8,947
受取手形及び売掛金	30,741	28,236
たな卸資産	37,616	38,127
その他	4,059	4,672
貸倒引当金	△399	△353
流動資産合計	80,066	79,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,890	12,608
土地	6,523	6,422
その他(純額)	4,098	4,156
有形固定資産合計	23,512	23,187
無形固定資産		
投資その他の資産	1,711	1,593
投資その他の資産		
その他	8,025	8,026
貸倒引当金	△1,951	△1,952
投資その他の資産合計	6,074	6,074
固定資産合計	31,298	30,855
資産合計	111,365	110,486
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,972	11,863
短期借入金	43,144	39,408
未払法人税等	409	1,170
賞与引当金	15	28
その他	7,712	6,379
流動負債合計	61,254	58,849
固定負債		
長期借入金	16,647	16,687
役員退職慰労引当金	69	58
退職給付に係る負債	5,163	5,215
その他	646	662
固定負債合計	22,528	22,622
負債合計	83,782	81,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	8,937	10,756
自己株式	△605	△605
株主資本合計	28,412	30,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	852
為替換算調整勘定	△2,274	△2,679
退職給付に係る調整累計額	28	51
その他の包括利益累計額合計	△1,406	△1,775
非支配株主持分	576	559
純資産合計	27,582	29,013
負債純資産合計	111,365	110,486

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	50,991	48,389
売上原価	35,995	32,949
売上総利益	14,996	15,439
販売費及び一般管理費	12,967	11,821
営業利益	2,028	3,618
営業外収益		
受取利息	16	36
受取配当金	91	99
為替差益	—	18
貸倒引当金戻入益	165	48
その他	277	299
営業外収益合計	551	501
営業外費用		
支払利息	615	506
為替差損	1,308	—
その他	48	25
営業外費用合計	1,973	531
経常利益	606	3,589
特別利益		
固定資産売却益	367	38
特別利益合計	367	38
特別損失		
固定資産除売却損	106	31
減損損失	105	—
その他	17	20
特別損失合計	230	51
税金等調整前四半期純利益	744	3,576
法人税等	1,116	1,158
過年度法人税等	53	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△425	2,417
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△193	12
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△232	2,404

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△425	2,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	13
為替換算調整勘定	△3,146	△410
退職給付に係る調整額	△11	22
その他の包括利益合計	△3,503	△374
四半期包括利益	△3,928	2,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,680	2,035
非支配株主に係る四半期包括利益	△248	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	744	3,576
減価償却費	1,337	1,127
減損損失	105	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△181	△44
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	42
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	12
受取利息及び受取配当金	△108	△135
支払利息	615	506
為替差損益(△は益)	△884	△190
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△261	△6
売上債権の増減額(△は増加)	678	2,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,470	△1,024
仕入債務の増減額(△は減少)	1,329	1,975
割引手形の増減額(△は減少)	△211	△40
その他	3,635	△1,168
小計	9,252	6,635
利息及び配当金の受取額	108	130
利息の支払額	△618	△507
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△934	△614
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,808	5,643
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△832	△840
有形及び無形固定資産の売却による収入	471	179
その他	114	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△574
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,225	△2,246
長期借入れによる収入	3,750	1,853
長期借入金の返済による支出	△6,025	△2,832
自己株式の取得による支出	△538	△0
配当金の支払額	△741	△583
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△327	△121
その他	△122	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,231	△4,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,088	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242	956
現金及び現金同等物の期首残高	7,671	7,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,913	8,849

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,102	14,725	50,827	164	50,991	—	50,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	371	226	598	263	861	△861	—
計	36,473	14,952	51,425	427	51,853	△861	50,991
セグメント利益 又は損失(△)	2,296	△422	1,874	38	1,913	△1,306	606

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,306百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△1,316百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,562	15,659	48,222	166	48,389	—	48,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	499	205	704	229	934	△934	—
計	33,061	15,865	48,927	396	49,323	△934	48,389
セグメント利益	2,863	1,129	3,992	20	4,013	△424	3,589

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△424百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△412百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、産業機器&システム事業セグメントの資産105百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より経営の枠組みを見直し組織変更したことに伴い、報告セグメントを従来の「縫製機器事業」「産業装置事業」の2つのセグメントから、「縫製機器&システム事業」と「産業機器&システム事業」の2つのセグメントに再編しております。

「縫製機器&システム事業」は工業用ミシン事業と家庭用ミシン事業からなり、「産業機器&システム事業」は、成長が期待できる受託加工事業等の「グループ事業」、パーツ販売・保守サービス等の「カスタマービジネス事業」及びマウンタなど実装装置の製造販売を担う「産業装置事業」で構成いたします。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。